

## 第 1 6 2 回理事会議事録

1. 日時 : 2010 年 3 月 26 日 (金) 午後 6 時 30 分～9 時 15 分
2. 場所 : 四谷連盟会館 (新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F)
3. 出席者:【出席 18 名】 藤田公郎、野崎武、木村修躬、宮国健次、  
神代高弘、ロバート・ゲラー、島村京子、久富浩、平田眞、  
堺順市、清水康裕、白鳥正喜、寺本直志、田多井菊雄、  
古田一雄、逸見徹、増田道子、森村俊介  
【監事 2 名】 兼岩芳樹、鳩山勝郎  
【事務局 3 名】 吉田正事務局長、大政哲人競技会事業部長、  
高橋陽子普及事業部長  
(理事現在数: 18 名、定足数 12 名、本人出席 18 名)
4. 議事の経過及び結果  
藤田公郎会長を議長に、神代高弘常任理事、寺本直志理事を議事録署名人に選任し、  
議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 161 回理事会議事録案の承認について  
議事録案を承認した。

第 2 号議案 2010 年度予算案について  
事務局より前回理事会以降の修正点について説明があり、原案通り承認した。  
また、当予算案について、5 月 29 日開催予定の会員総会で承認されるまでの  
間、暫定予算として執行することを承認した。

第 3 号議案 虎ノ門実業会館四谷ビル 3 階の賃借について  
平田総務担当理事より四谷ビル 3 階に入居中のテナントが 4 月半ばに退去す  
ることになり、虎ノ門実業会館から連盟及び四谷ブリッジセンターに対し借  
り増しの検討の打診があったとの報告があった。  
3 階を賃借した場合、大部分の連盟主催競技会を一会場で開催できる事や普及  
活動にも使用できることが連盟のメリットとしてあげられた。  
四谷ブリッジセンターの決定を待つこととし、連盟としては四谷ブリッジセ  
ンターに対して賛成、反対の意思表示をしない事が平田理事から表明された。  
野崎副会長から、借り増しするしないにかかわらず、今後 2 年更新の契約期  
間を長くすること、賃料の変動を抑制する条項を契約書に盛り込むことを求

めるようにとの意見があった。

四谷ブリッジセンターのみ連盟が敷金を負担する事は不公平ではないかとの意見及び公益法人である連盟が賃借しNPO法人の四谷BCに貸し出す問題点について意見があった。

#### 第4号議案 正会員申込及び退会について

下記の2名の会友より提出された入会申請につき審議の結果承認した。

佐藤牧子（会員番号 153698）、木村史子（会員番号 95394）

この2名については総会での議決権はあるが、役員予備選挙の選挙権はないことが確認された。

また、事務局より1名の正会員より退会届が提出されたとの報告があった。

#### 第5号議案 各委員会及び事業部報告

##### 1. 企画委員会

理事の勤務する会社との取引は、一般社員がその取引に関わらない場合は利益相反取引に該当しないとの確認があった。今回の日本経済社との取引は逸見理事が最終見積作成に関与したが、当初の見積作成時では取引に関与しておらず、その時点での見積金額を連盟との契約とした場合利益相反取引となるかとの質問があり、顧問弁護士に確認し報告することになった。利益相反取引についてはその内容を事務局が代行することはできず、理事本人が関与した内容及び金額等について文書を作成し会員総会に提出するか、会員総会で本人が説明する必要があるとの説明があった。

その他3月12日開催の議事録の報告があった。

##### 2. 人事委員会

神代委員長より2月16日及び3月15日の委員会議事録の報告があり、8月末の吉田事務局長の任期満了に伴う大政及び高橋の人事案を承認した。また、新規職員採用についての計画及び2010年度職員給与についての報告があった。

##### 3. 九州支部

木村副会長より4月1日から前田良徳氏を九州支部事務担当およびPABFコンGRESS実行委員会担当として業務委託契約すること、福岡ブリッジプラザの大石マネージャーが体調不良のため早期の交替を要請されたため、今後前田氏の勤務状況を見た上でマネージャー業務を業務範囲に加えるか他の人に依頼するかを決定することになったことが報告された。

##### 4. PABFコンGRESS実行委員会

宮国委員長より2012年PABFコンGRESS福岡大会の認知度向上に向けて

の振興策について、2011年山笠リジョナルをプレ大会としてコンGRESと同じホテルで開催すること及びファンドゲームの開催が報告された。すでにNECブリッジフェスティバルのためにBIGLOBEシリーズが開催されており、ファンドゲームが多くなりすぎるとの意見があり、今後競技会事業部審議会で検討することになった。

5. 定款検討委員会

逸見委員長より12月17日、2月4日開催の議事録に関する説明があった。

6. 代表選抜委員会

堺委員長よりPABFレディス日本代表チームにマネージャーとして勝部俊宏氏を選任する提案があり、これを承認した。

また、マネージャー選任の規定が無いため、今後代表選抜委員会において検討することに決定した。

7. 競技委員会

清水委員長より2月3日開催の議事録に関する説明があった。

丸の内杯、社会人IMPについて参加制限を一部緩和したとの報告があったが、現役社員が必要な条件の検討を求める意見があり、次回の競技委員会において検討することになった。

8. センターサービス向上委員会

田多井委員長より2月上旬にガイドライン暫定版を常設ブリッジクラブ／ブリッジセンターに送付したこと、また当初4月1日に最終版を発行する予定であったが、センター側の意見を聞いた上で内容を点検し、発行を5月1日とすることとし、次回理事会に提出することの報告があった。

9. 普及事業部

高橋普及事業部長よりユースの最終選考を行い、PABF選手権ジュニア部門(U26)、ヤングスター部門(U21)各6名、世界大学選手権5名、世界ユースチーム選手権6名の日本代表メンバーが決定したことが報告され、これを承認した。

10. 競技会事業部

大政事業部長より事業部活動状況及びゴールドライフマスター7名、シルバーライフマスター5名、シニアライフマスター17名、ライフマスター21名の資格取得者の報告があった。

11. 国際交流事業部

吉田事業部長からNECブリッジフェスティバルの結果、収支報告及びニューヨークタイムズ掲載の記事の報告があった。

第 6 号議案 公益法人制度改革について

吉田事務局長より制度改革の概要、公益社団法人及び一般社団法人に移行した場合のメリット・デメリット、現時点での移行状況についての説明があった。

第 7 号議案 その他の議案

1. 持ち回り理事会による議案の採決結果について

1 月 29 日から 2 月 5 日及び 3 月 5 日から 8 日にかけて実施した、メールによる持ち回り理事会の採決により以下の議案が承認された。

第 1 号議案 細田博之氏、鳩山勝郎氏の理事会推薦理事への指名について  
賛成 14、棄権 3

理事数の 3 分の 2 以上の賛成が得られたため会員総会に推薦することに決定した。

第 2 号議案 野崎武氏、白鳥正喜氏の役員予備選挙実施における選挙管理委員への選任について  
賛成 11、棄権 1

2. チャリティ基金寄付先について

本年度のチャリティ基金寄付先について、事務局案通り承認した。  
チリ地震について寄付の提案があり、50 万円を拠出することに決定した。

3. 名誉会員推薦について

今期で退任される藤田公郎会長及び野崎武副会長を名誉会員に推薦する提案があり、これを承認し、会員総会に提案することに決定した。

4. 次回開催日について

次回は 4 月 23 日（金）午後 6 時 30 分より開催する。

当日配布書類：第 5 号議案「正会員申込について」

第 6 号議案「人事委員会議事録」、「2012 年 PABF コングレス福岡大会振興策について」

平成 22 年 3 月 26 日（2010 年）

社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 162 回理事会

議 長

議事録署名人

議事録署名人